

概要

ミラノと札幌の2026年冬季五輪開催概要計画内容を比較。さらに東京五輪の問題点から、札幌にオリンピックを呼ぶには何を行えばよいのか考えた。誘致は可能であると結論づけた。

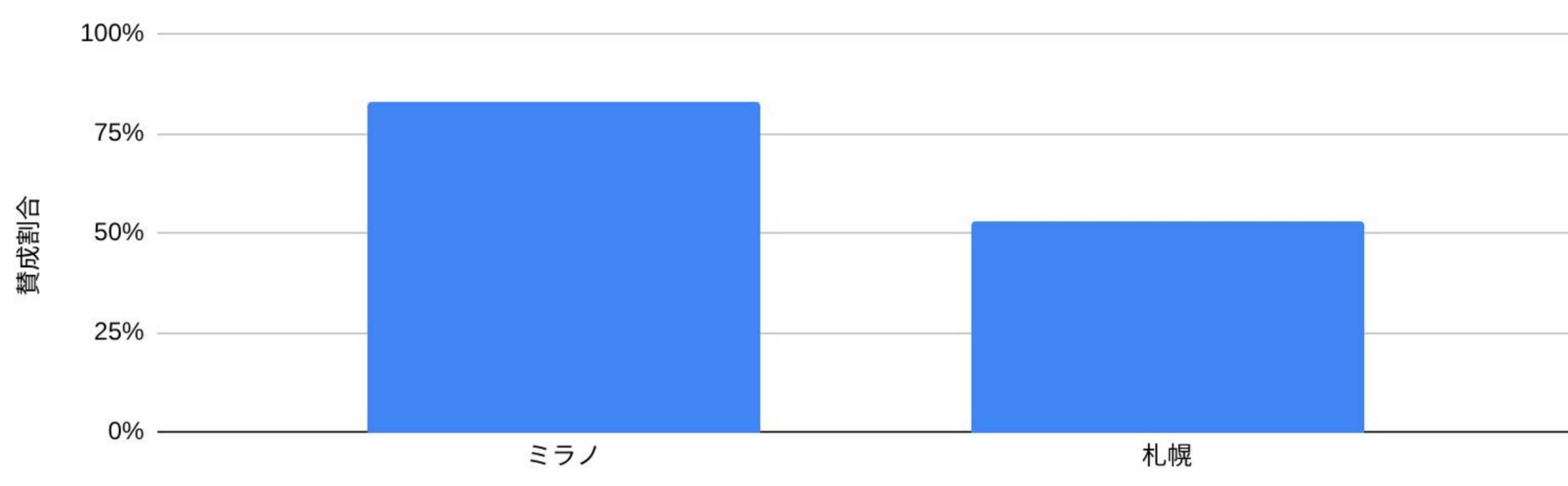
背景

2026年にミラノで冬季オリンピックが開催されるにあたり、札幌市にオリンピックを呼ぶにはどうすればよいか考えた。

札幌市/ミラノの市民の賛成割合

ミラノ⇨ 83% 札幌⇨ 53%
ミラノが 30% 高い！！

賛成割合



オリンピック誘致の賛成割合 (IOCより)

開催概要計画の比較

観点	ミラノ	札幌
環境	<ul style="list-style-type: none">既存施設中心 新建設2件環境を統括部署で管理リサイクル率等の数値が具体的国際規格認証を取得	<ul style="list-style-type: none">既存活用を掲げる 新建設件数は不明環境対策は全体方針の一部リサイクル率等の数値が不明国際規格に関する記載なし
市民	<ul style="list-style-type: none">市民をステークホルダーとして参加市民のQOL向上のレガシーを提示	<ul style="list-style-type: none">説明会/情報発信で不安解消市民参加を基本方針の一部として記載
予算	<ul style="list-style-type: none">財政統括組織 設置資金源内訳等に関する記載あり	<ul style="list-style-type: none">財政負担抑制専門の組織はない総額見積もりのみ記載

補足

「ステークホルダー」利害関係者 「国際規格」ここでは、ISO20121などの持続可能性に関する基準

2020年東京オリンピックから

東京オリンピックでの問題は、特に「汚職・談合」があげられる。公正取引委員会が告発したことでいくつかの企業の幹部らが有罪判決を受けた。この事件の検証が不十分だという回答は82%にもなり、不信感を抱いた国民もいた。

結論

市民意識を変えるには、市民への適切な説明・具体的な数値の明示が必要である。それらを行えば、札幌市にオリンピックを誘致することは可能である。

参考文献

- ・2016年 札幌市「札幌市提出資料(開催提案書) https://www.city.sapporo.jp/sports/olympic/proposal.html?utm_source=copilot.com
- ・2018年 CONI Big committee「Milano Cortina 2026 : Candidature Dossier」
<https://library.olympics.com/Default/doc/SYRACUSE/207261/milano-cortina-2026-candidature-dossier-milano-cortina-2026-candidate-city-olympic-winter-games?lg=en-GB>
- ・2024年 読売新聞「日本で再び五輪を」52%、お食事券の検証「不十分」82%…読売世論調査
<https://www.yomiuri.co.jp/election/voron-chosa/20240410-OYT1T50003/>
- ・2018年 IOC「Report of the IOC Ecaluation Commission」
<https://library.olympics.com/Default/doc/SYRACUSE/206469/report-ioc-evaluation-commission-olympic-winter-games-2026-stockholm-are-2026-milano-cortina-2026?lg=en-GB>